

(様式 1-3)

福島県 (川内村) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	18	事業名	農山村地域復興基盤総合整備事業 (林道改良事業 (舗装)) 「拝沢線」	事業番号	(5)-40-13
交付団体	福島県		事業実施主体 (直接/間接)	福島県 (直接)	
総交付対象事業費	(126,000) 137,000 (千円)		全体事業費	(126,000) 137,000 (千円)	
帰還環境整備に関する目標					
東京電力原子力発電所事故以降、計画路線である拝沢線の位置する川内村においては、原子力発電所事故以降の住民避難に伴い、森林整備・木材生産活動が停滞しており、森林の持つ多面的機能の低下が懸念されている。 このため、避難住民帰還のための緊急時避難路、災害時迂回路、通行時の安全確保等生活環境の改善及び森林施業及び木材輸送の効率化による森林整備の促進を図るため、当該路線を舗装する計画とする。					
事業概要					
林道舗装事業 既設林道の舗装 L=1,995m、W=3.0/4.0m					
当面の事業概要					
<平成 27 年度> 測量設計業務 L=1,995m、7,830 千円 舗装工事 L=733m、W=3.0/4.0m、48,170 千円 <平成 28 年度> 舗装工事 L=887m、W=3.0/4.0m、70,000 千円 <平成 29 年度> 舗装工事 L=375m、W=3.0/4.0m、11,000 千円					
地域の帰還環境整備との関係					
・地域の基幹産業である林業の再開に向けた基盤整備 ・地区集落間の連絡道や災害時の迂回路として安全な通行の確保					
関連する事業の概要					
・森林除染技術開発事業 (国事業名：放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業) 森林内における放射性物質の動態変化に対応した新たな森林除染技術の確立に向け、表土流出防止工、被覆工及び森林整備を施工した当地区内の森林において、空間放射線量率や放射性物質の動態変化についてデータの蓄積と解析を行っている。 ・ふくしま森林再生事業 (国事業名：森林環境保全整備事業、放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業) 震災以降停滞している森林整備を促進させ森林の再生を図るため、平成 25 年度より汚染状況重点調査地域等において森林整備と放射性物質対策を一体的に実施している。当地区においても、事業実施予定。					

(別紙)

計画区域

※計画の区域及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。

